

別紙

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成26年8月21日)

- 1 第19回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット共同宣言文

【交流推進課】・・・1ページ

文化観光スポーツ局

第19回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット 共同宣言文

モンゴル国中央県知事 ドルジ・バヤルバト、大韓民国江原道知事 崔文洵、中華人民共和国吉林省長 巴音朝魯、日本国鳥取県知事 平井伸治は、2014年7月21日にモンゴル国において開催された第19回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットに出席し、地域間の相互協力及び友好関係に基づき、北東アジア地域の共同繁栄のために幅広い意見交換を行い、次の事項について合意した。

1. 北東アジア地域地方政府サミットは、地域レベルにおいて多地域間の協力を推進し、地域の社会経済の持続的成長及び自然環境保全に大きな役割を果たす等、最も強固なプラットフォームとして成長している点を踏まえ、この取り組みを今後も一層強化し、新たな段階に引き上げるよう努める。
2. 地域の経済発展の基盤となる投資、産業、ビジネス、教育、文化、スポーツ分野における協力を全面的に支援し、産業、経済ビジネス、自然環境保全分野における共同プロジェクトの可能性について全面的かつ積極的に追求する。
3. 地域の経済活性化のカギとなる交通網と物流の発展を重視して、境港～東海～ウラジオストク航路の更なる利用促進及び同航路と吉林省等とのアクセスの向上、東草～ザルビノ～琿春航路の維持及び安定化、米子～ソウル便等の各地域を結ぶ既存の定期航空航路線並びに新規に開設する定期航空路線等全ての航路を支援していくことについて合意する。また、税関手続き緩和や査証簡素化など北東アジア地域における物流及び観光客受け入れに向けた環境整備を図るべく取り組み、北東アジア地域における交通網を拡大・発展させるために各地域が中央政府の支援を求めつつ、相互に連携する。加えて、本年8月に鳥取県で開催する第2回GTI北東アジア地方政府協力委員会会議及び地域開発フォーラムを通じてGTI諮問委員会への提言・働きかけを行い、北東アジア地域内の物流の円滑化に重点的に取り組む。
4. 地域の観光分野における相互協力の推進に重点を置き、各地域の特徴ある多様な観光資源の宣伝・情報発信を実施するとともに、芸術、文化、伝統、慣習における相互理解を深め、観光客の誘致を促進する様々な取り組みを支援していく。
5. PM2.5等大気汚染の対策、自然環境保護、廃棄物の処理、砂漠化対策、地球温暖化対策等、地域のみならず世界が直面する共通の問題について相互に情報交換と経験共有を行い、共同セミナーや青少年交流事業の実施に向けて連携する。
6. 各地域は、それぞれの地域で開催される国際事業の開催を歓迎し、積極的に支援を行う。
・日本国鳥取県で開催する全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会（2014年11月まで）、2021年に関西広域連合で開催する国際総合競技大会ワールドマスターズゲームズ

- ・モンゴル国中央県で開催するモンゴル民族祭り「ナーダム」（2015年7月）、北東アジア地域男女共同参画フォーラム（2015年7月）
- ・大韓民国江原道で開催する第12回国際連合生物多様性条約に関する締約国会議（CBD COP）（2014年9月）、GTI貿易投資博覧会（2014年10月）、第6回世界森林火災総会（2015年10月）
- ・中華人民共和国吉林省で2015年6月に開催する第10回中国－北東アジア博覧会
- ・ロシア連邦ウラジオストク市で開催する太平洋国際観光展（PITE）、国際環境フォーラム「国境なき自然」（2014年～2017年）

7. 各地域は、予定されている事業が成功裏に開催されるように可能な限り努力し、教育、文化、科学、医療、スポーツ、芸術分野における相互派遣プログラムを実施し、青少年の友好交流や相互協力の拡大を図る。特に、北東アジア地域でのオリンピック開催を契機として、各地域が開催するスポーツイベントへの参加、交流試合や合同合宿の実施等のスポーツ交流に積極的に取り組む。

8. 2015年に開催される第20回サミットは、大韓民国江原道で開催することにつき合意した。

この共同宣言文は日本語、韓国語、中国語、モンゴル語でそれぞれ作成し、各地域が1部を保管する。

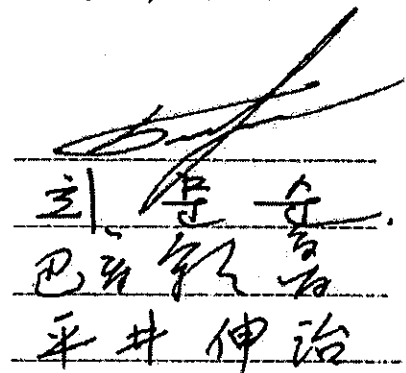
2014年7月21日

モンゴル国中央県知事

大韓民国江原道知事

中華人民共和国吉林省長

日本国鳥取県知事



劉守令
巴音朝魯
平井伸治